



◆ お知らせ ◆

各 位

株式会社阪急阪神エクスプレス

東京都「企業の Scope3 対応に向けた航空貨物輸送での SAF 活用促進事業」

SAF を活用した航空貨物輸送を促進する貨物代理店に選定

阪急阪神エクスプレス(本社:大阪市北区 代表取締役社長:谷村 和宏)は、7 月 23 日、東京都より、都内に登記がある企業の CO2 排出量削減対応に向けて SAF(*)を活用した航空貨物輸送を促進する貨物代理店の 1 社に選定されました。

企業活動の脱炭素化においては、企業自ら温室効果ガスを直接排出する「Scope1」、他社から供給された電気等の使用に伴い間接排出する「Scope2」に加えて、自社製品の貨物輸送のサプライチェーンの中で発生する等、企業の活動に関連して間接排出する「Scope3」の CO2 排出量削減も求められています。

貨物輸送の中でも CO2 排出量が多いとされる航空輸送の脱炭素化に向けて、東京都は 2024 年より SAF を利用して航空貨物輸送を行う都内に登記がある企業に対して、貨物代理店を通じて SAF 利用時に発生する追加費用を助成する事業を開始。このたび、当社は 2025 年度の本事業に申請し、選定されました。

これにより、助成対象期間である 2025 年 7 月から 2026 年 3 月の間に当社を通じて SAF を利用した航空貨物輸送を行う都内企業には、「CO2 削減証書」を発行するとともに、SAF 利用時の追加費用が助成されます。

阪急阪神ホールディングスグループの中核コアの 1 社である当社は、『安心・快適』そして『夢・感動』をお届けすることで、お客様の喜びを実現し、社会に貢献する」というグループ経営理念を掲げ、持続的な成長を志向するとともに、その基盤となる ESG(環境・社会・企業統治)に関してもさまざまな取り組みを推し進めるグループの中核コア会社として、脱炭素社会や循環型社会に資する環境保全活動に引き続き、取り組んでまいります。

(*) SAF

持続可能な航空燃料(Sustainable Aviation Fuel)であり、廃食油、サトウキビ等のバイオマスや都市ごみ、廃プラスチック等を用いて生産される燃料。

以上

—＜本件に関するお問い合わせ先＞—

株式会社阪急阪神エクスプレス メディア統括室

〒105-0004 東京都港区新橋 3-3-9 TEL:03-6745-1450/FAX:03-6745-1458

www.hh-express.com/jp/